

此花区PR大使 徳永 ゆうきさん に
聞いてみました!



このまちにあったらいいな

「あったらいいな」と思うもの、それは野球場です。近年、自由に運動ができるグラウンドが少しずつ減っているように感じます。小さい頃、野球やサッカーに夢中になり、元気な声があちこちに響いていました。しかし、時代の流れとともに住宅が増え、音が近所の迷惑になってしまうこともあります。その一方で、スマートフォンやゲームなど、家の中で遊ぶ時間が増えている印象もあります。子どもたちが思いきり体を動かし、笑い合いながら過ごせる場所が、もっと身近にあってほしいと願っています。そうした場所があれば、子ども同士のつながりが生まれ、自然とコミュニケーションの力も育まれていくでしょう。そして、その風景を見守る大人たちもまた、自分の幼い頃を懐かしく思い出すことができるはずです。人と人のご縁やつながりが希薄になりつつある今だからこそ、子どもたちが一緒に遊び、関わり合いながら成長できる環境は、これからの社会を支える大切な土台になるのではないかと思います。



このまちの好きな音



阪神電車の鉄橋の音。風向きによっては家まで鉄橋の音がよく聞こえてきました。心地よいリズムは、まるで子守唄のようでした。いまは工事中でこれから聞こえなくなると思うと少し寂しい気持ちになります。大人になって思うのは、幼い頃に経験したこと、目にした風景、耳にした音は、いつまでも心の中に残り続けます。

「どうしてこのまち

“このはな”を離れたくないのか？」
あなたのこたえは見つかりましたか？

これまでを踏まえ、考えてみよう。

#このはなでつながる でSNSに投稿し、
あなたの想いを聞かせてください

Xはこちら >

SNSアカウントをお持ちでない方はこちら >

みんなで想いを共有して、
さらにむこうへ
このスペースは好きに使ってね。



あなたが“このまち”に寄り添うことで此花区の未来は
どう変わっているのでしょうか？